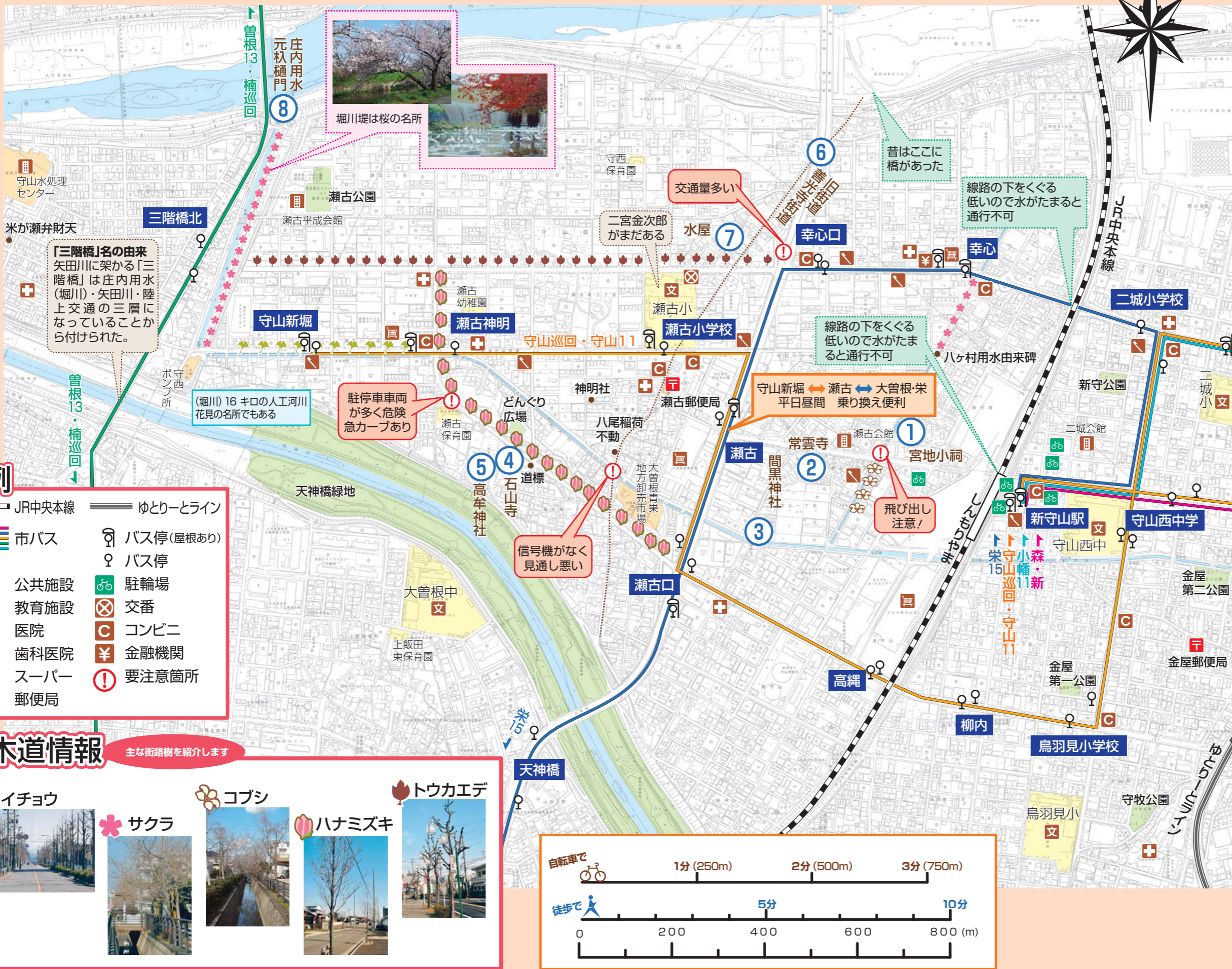


# 守山区 瀬古地区 エコ交通マップ

## 守山区瀬古地域の史跡



- 宮地小祠**  
道傍に設置された間口約2mの小さな祠には、左から馬頭観音・地藏菩薩・2体の聖観音の計4体がまつられている。地藏菩薩の台座に明和8年(1771)の銘。
- 常雲寺**  
本尊は地藏菩薩。境内に青面金剛童子を本尊とする庚申堂があり、その前に昭和8年、地元の人が見ザル・言ワザル・聞カザル三猿を寄進。「幸心」の地名はこの庚申堂に由来すると言われている。
- 間黒神社**  
祭神は須佐之男命。口伝によれば鎌倉時代の創建、度重なる水害を鎮めるため設置。境内には、戦時中、アメリカ軍飛行機墜落時の衝撃の傷跡が刻まれた石が残っている。境内を古川(神戸川)が流れ、鯉がたくさん泳いでいる。
- 石山寺**  
鎌倉時代寛元年間(1243~1247)道円開基。延宝4年(1676)、尾張二代藩主徳川光友により再建されるが、戦災で消失。釈迦・薬師如来・観音堂・山門は戦災を免れて現存。山門脇の馬頭観音は善光寺街道にまつられていたのを明治時代に移設。
- 高牟神社**  
祭神は高皇産靈神。養老元年(717)創建。本殿は昌泰3年(898)再建。明治時代に社務所・拜殿・祭文殿を建立。山田二郎重忠が奉納した菅原道真の画像一軸は戦災で消失。
- 善光寺街道**  
名古屋城下札の辻を基点に大曾根大木戸・山田の渡し・守山地内北進(現天神橋・瀬古・幸心)。勝川の渡し・大井宿(恵那市)に至り中山道に合流。下街道とも呼ばれ、庶民一般の人々が自由に通行でき、非常ににぎわった道(現在の国道19号線にほぼ相当)。
- 水屋**  
この地域は庄内川と矢田川に囲まれた「瀬古村輪中」と言われた低湿地帯で、度々水害にみまわれたため、石垣を積み上げ自衛策として避難用建物を築いた。この建物を水屋と言ひ、連絡用の小船も備えられていた。
- 庄内用水元杖樋門**  
明治43年に改築された市内で唯一現存する「人造石工法」による産業建築物。平成5年名古屋都市景観重要建築物に指定。庄内川から取り入れた水は矢田川の下を交差するように地下水路(矢田川伏越)を通って堀川へ導かれている。

### 凡例

	JR中央本線		ゆとりーとライン
	市バス		バス停(屋根あり)
	バス停		駐輪場
	公共施設		交番
	教育施設		コンビニ
	医院		金融機関
	歯科医院		要注意箇所
	スーパー		
	郵便局		

### 並木道情報

主な街路樹を紹介します

	イチヨウ		コブシ		トウカエド
	サクラ		ハナミズキ		

